

校内研修

(1) 研究主題

生徒の学びが深まる ICT 活用法の研究
～質の高い「指導法の継承と開発」を目指して～

(2) 主題設定の理由

昨年度全面実施となった中学校学習指導要領（平成 29 年告示）では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が求められている。令和元年度には、文部科学大臣から「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて ～令和時代のスタンダードとしての 1 人 1 台端末環境～」というメッセージを発端に GIGA スクール構想の実現に向けて、1 人 1 台のタブレット使用ができる環境整備が進められた。社会の急激な変化が進む中で、子供が予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成するため、学校教育の改善・充実が求められている。学習指導のみならず、学校が抱える課題は、より複雑化・困難化している。

宮崎県においては、令和元年以降の県政を見据えて、宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」の改定を行ったことから、前計画となる「第二次宮崎県教育振興基本計画」の終期を繰り上げ、令和元年 6 月、新たに「宮崎県教育振興基本計画（令和元年）」を策定された。「小・中学校の学力向上」「教員の授業改善」「教育の情報化の推進」等の学力向上に加え、「教職員の資質向上と学校業務の改善」「学校における働き方改革の推進」等を掲げている。令和 3 年 1 2 月に計画された宮崎県「教育の情報化」推進プランには、活用事例を共有するなどして教職員の指導力を高め、教科学習において児童生徒が積極的に ICT を活用する機会を増やすことで、ICT の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」を実現し、教科等における学力の向上を図ることが記載されている。

これらを踏まえると、本校では、過年度までに整備された ICT 機器の環境を最大限に有効活用し、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて授業改善をすることが求められている。昨年度における研究で積極的に活用を図った成果として、教師、生徒ともにある程度のタブレット端末操作ができる。

そこで、今年度以降は昨年度の成果を踏まえて実際に学力を伸ばすための研究を進めていきたい。学校現場における学力向上の取組を進めることは、国家 100 年の大計の礎であることはいままでもないが、担い手となる教職員が質の高いパフォーマンスを発揮し、充実した教育を与えられる環境でなくてはならない。そこで、学力向上と働き方改革の取組を本校の実態に合わせてデザインする取組を行いたい。

ICT（校務支援システム・ロイロノート）の利活用を図り、教職員の個性と実践力を生かした指導法の継承と開発を目指すことで、生徒の学びが深まる持続可能な学習環境づくりを行えば、「今日が楽しく、明日が待たれる学校」になり、本校の教育目標である「心豊かで高い志をもち、自立する生徒の育成」の実現につながると考えられる。

(3) 研究の目標

細田中学校の全教育活動において、ICT（校務支援システム・ロイロノート）の利活用方法の個別最適化を図り、教職員の個性と実践力を生かした指導法の継承と開発を目指すことで、生徒の学びが深まる持続可能な学習環境づくりを行う。

(4) 研究の仮説

ICT の利活用方法の個別最適化を図り、教職員の個性と実践力を生かした指導法の継承と開発を工夫すれば、生徒の学びが深まる持続可能な学習環境づくりを行うことができるであろう。

(5) 研究の内容

① 実態把握

- ・ ロイロノートの効果的な使用場面の洗い出し、自己重点目標の設定
- ・ フリー参観、参加者シート、生徒授業感想カードの回収

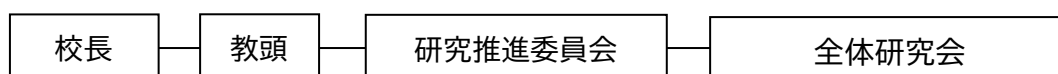
② 学びが深まる指導法の継承と開発

- ・ 自己重点課題に対するPDCA
- ・ フリー参観と振り返り
- ・ 有益な指導にまつわる資料のペーパーレス及びデータ化
- ・ ロイロノートを用いた学習法の開発

③ 次年度を見据えた学習環境づくりに関わる取組

- ・ 持続可能な学習環境づくりの在り方
- ・ 生徒の学びに効果的なロイロノート活用場面の整理
- ・ 校務支援ソフトとロイロノート等ICTを活用した効率的な評価の作成・管理

(6) 研究の組織



(7) 研究の計画

| | 期 日 | 内 容 |
|------|----------|--|
| 主題研① | 4月11日(月) | ○ 「細田中ロイロノートのきまり」に関する提案 ○ ロイロノートの保管に関する提案 ○ 実技研修(タブレットの使用) |
| 主題研② | 5月6日(金) | ○ 主題研究全体構想説明 ○ 校務支援システム研修(基本操作・日常業務・成績処理等) ○ ロイロノート実技研修(校務用パソコンでの使用) |
| 主題研③ | 6月1日(水) | ○ 生徒アンケート・実施計画提案 ○ ロイロノート使用場面の洗い出し ○ 自己重点目標Ⅰの設定 ○ フリー参観Ⅰについて |
| 主題研④ | 7月6日(水) | ○ フリー参観Ⅰ振り返り ○ ロイロノート実技研修(生徒のポートフォリオ作成と評価) ○ 校務支援システム研修(学期末作業等) |
| 主題研⑤ | 8月夏季休業中 | ○ ロイロノート活用研修(外部講師「株式会社LoiLo」) |
| 主題研⑥ | 9月14日(水) | ○ 自己重点目標Ⅱの設定 ○ フリー参観Ⅱについて ○ 校務支援システム研修(年度末作業等) |
| 主題研⑦ | 10月5日(水) | ○ フリー参観Ⅱ準備 ○ 生徒・職員アンケート集計結果(1学期) |
| 主題研⑧ | 11月4日(水) | ○ フリー参観Ⅱ振り返り |
| 主題研⑨ | 12月7日(水) | ○ 自己重点課題PDCAのまとめ ○ 効果的であったICT実践のシェアリング |
| 主題研⑩ | 12月冬季休業 | ○ ロイロノート実技研修(年度末作業・年度更新) ○ 校務支援システム研修(年度末作業・年度更新) ○ 研究のまとめ |
| 主題研⑪ | 1月6日(金) | ○ 研究のまとめ |
| 主題研⑫ | 3月1日(水) | ○ 今年度の反省・次年度の方向性に関する提案 |